

第49期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

FUJITSU



本社の社窓からレインボーブリッジを望む

株式会社 富士通ビー・エス・シー
FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

証券コード：4793

売上高

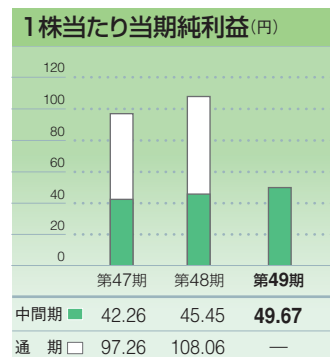
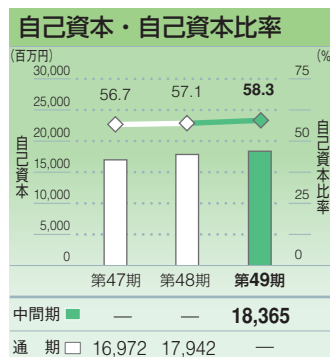
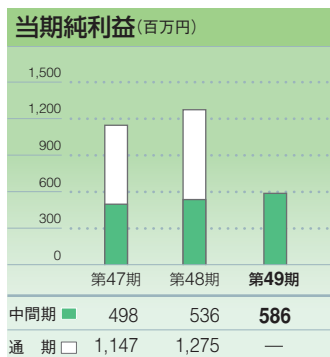
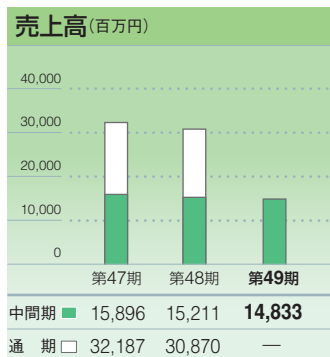
14,833百万円
(前年同期比2.5%減)

経常利益

1,015百万円
(前年同期比2.3%減)

当期純利益

586百万円
(前年同期比9.3%増)



(注) 第2四半期連結累計期間を中間期と表記しております。

Contents

財務ハイライト（連結）…………… 1
 株主の皆様へ…………… 2
 上半期の概況…………… 3
 社長インタビュー…………… 5
 上半期のトピックス…………… 6
 新サービス・新製品のご紹介…………… 7

四半期連結貸借対照表…………… 8
 四半期連結損益計算書…………… 9
 四半期連結キャッシュ・フロー計算書…………… 9
 会社概要…………… 10
 株式の状況…………… 10
 (ご参考) 株式事務のご案内

本社のあるトレードピアお台場（写真中央）

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第49期第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）における事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、東日本大震災の影響等により国内景気が不透明になり、厳しい経営環境が続くなかで、営業費用の削減と開発の効率化等による原価率の改善に努めてまいりました。その結果、売上高148億33百万円（前年同期比2.5%減）、利益は営業利益10億2百万円（同0.9%減）、経常利益10億15百万円（同2.3%減）と前年同期比で若干減少しましたが、四半期純利益は5億86百万円（同9.3%増）となり前年同期比で増益となりました。

中間配当金につきましては、株主の皆様からの日頃のご支援にお応えし、安定的な配当を維持するため、1株につき13円50銭とさせていただきます。

当社グループは、株主の皆様のご期待にお応えできるように今後とも企業価値の向上に努めてまいり所存でございますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月



代表取締役社長

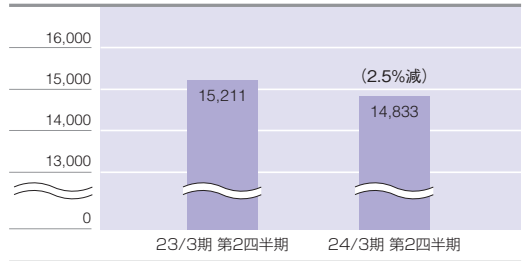
室町義昭

上半期の概況

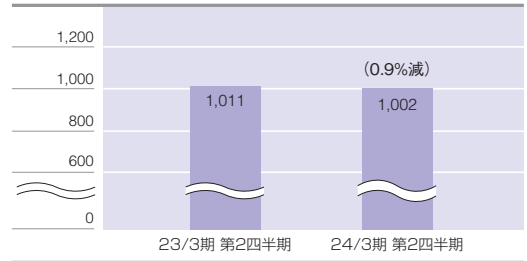
当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで、以下同じ）の売上高は148億33百万円となり、前年同期に比べ2.5%の減収となりました。利益については、営業利益10億2百万円（前年同期比0.9%減）、経常利益10億15百万円（同2.3%減）と前年同期に比べ減益となりましたが、四半期純利益については5億86百万円（同9.3%増）となり前年同期比増益となりました。

震災の影響等により不透明な経営環境が続くなか、通信キャリア向けのシステム開発及びパッケージ販売が伸び悩んだことから、売上高については前年同期を下回る結果となりました。開発の効率化等により原価率の改善を進めましたが、一方で人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は前年同期比0.9%の減益、経常利益については同2.3%の減益となり前年同期を若干下回る結果となりました。四半期純利益については、会計基準変更の適用に伴い前年同期に計上していた特別損失が軽減したことから同9.3%の増益となりました。

売上高 (百万円、累計期間、()内は前年同期比)



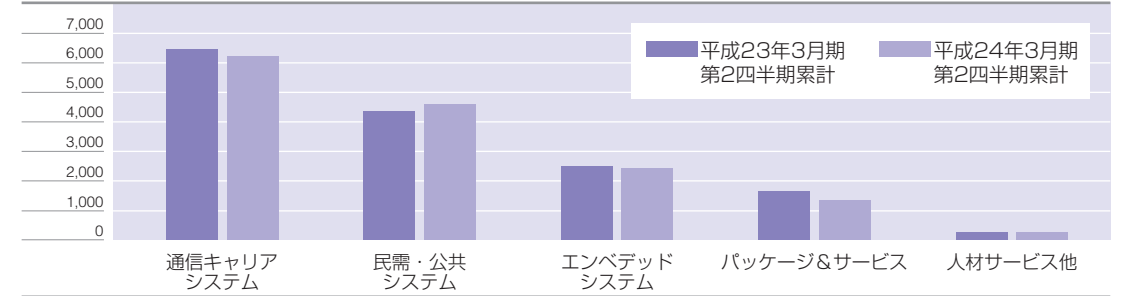
営業利益 (百万円、累計期間、()内は前年同期比)



(百万円)

	平成23年3月期第2四半期累計		平成24年3月期第2四半期累計		前年同期比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	15,211	100.0%	14,833	100.0%	△377	△2.5%
売上原価	12,706	83.5%	12,221	82.4%	△484	△3.8%
売上総利益	2,504	16.5%	2,612	17.6%	107	4.3%
販売費及び一般管理費	1,493	9.9%	1,610	10.8%	116	7.8%
営業利益	1,011	6.6%	1,002	6.8%	△9	△0.9%
経常利益	1,039	6.8%	1,015	6.9%	△24	△2.3%
特別損失	113	0.7%	-	-	△113	△100.0%
税金等調整前四半期純利益	925	6.1%	1,015	6.9%	89	9.7%
四半期純利益	536	3.5%	586	4.0%	49	9.3%

【事業区分別売上高比較】



【事業区分別売上高】

	平成23年3月期 第2四半期累計	平成24年3月期 第2四半期累計	前年同期比	
			増減額	増減率
通信キャリアシステム	6,473	6,236	△236	△3.7%
民需・公共システム	4,366	4,600	234	5.4%
エンベデッドシステム	2,484	2,421	△63	△2.6%
パッケージ&サービス	1,638	1,330	△307	△18.8%
人材サービス他	248	244	△3	△1.6%
合計	15,211	14,833	△377	△2.5%

主な事業区分別の売上高については、通信キャリアシステムにおいて、既存の基幹システムや顧客管理システム等、継続的に取り組んできた開発案件については一巡したことにより減少したものの、通信キャリア向けのネットワークソリューション系開発が拡大したことに加え、新たに「Topjax Solution」（富士通株式会社の開発フレームワーク）を適用した大手マスメディアグループ向けの開発に取り組み、結果として売上高は62億36百万円となり前年同期比3.7%の減収となりました。

また、民需・公共システムにおいては、「CAP21」、「JETBI」、スマートフォン活用等を中心としたソリューション提供及び基盤構築サービスが順調に増加しており、さらに富士通向け及び主要顧客向けシステム開発等についても堅調に推移していることから、売上高は46億円となり同5.4%の増収となりました。

エンベデッドシステムでは、大手光学機器メーカーの二コングループとの合併事業をベースにデジタルカメラを中心とした情報家電向け開発が順調に増加しましたが、主力であった携帯端末向けの開発についてはスマートフォンへシフトしているものの開発量は減少する結果となり、売上高は24億21百万円、同2.6%の減収となりました。

パッケージ&サービスにおいては、データセンターを中心としたアウトソーシングサービスについては堅調に推移したものの、セキュリティパッケージ製品である「FENCE」シリーズが伸び悩んだことにより、売上高は13億30百万円となり同18.8%の減収となりました。

なお、当社は本年8月にキューブ型のLEDソーラーランタン「Solar Cubic（ソーラー・キュービック）A-1」を発売いたしました。「Solar Cubic A-1」は、当社として初めてのハードウェア製品であります。当社は、システム機器に組み込んで制御するエンベデッドシステムについては長年の開発実績がありますが、システム機器製品自体の製造は初めての試みとなります。この試みを通して、システム機器製造メーカーや最終顧客等のユーザー側に立ったニーズや製造に関わるノウハウを吸収し、本来の業務であるエンベデッドシステム開発の一層の品質向上に役立てていきたいと考えております。

BSCは、進化し成長し続けるITベンダーです！

TOP Interview



今年6月に就任した室町新社長にインタビューしました。

Q1 はじめに新社長としての抱負をお聞かせください。

2年前から当社に来て経営を見てきました。当社はモノづくりに長けており、組込みソフトやセキュリティ、オンメモリーデータベースといった他社にまねのできない技術を数多く持っています。技術と品質には絶対の自信を持っていますので、この得意技術をベースにお客様の要求にきめ細かく対応できるITパートナーとして、お客様と共に成長していくことを目指したいと思います。

また、日本国内だけでなくグローバル化の観点から海外でのビジネス展開にも注力していきます。特に中国においては、オフショア開発および中国ビジネス展開の拠点として北京思元軟件有限公司*を有しており、今後のビジネス展開に積極的に活用していきます。

*中国科学院ソフトウェアセンターとの合弁子会社、設立1992年、当社出資51%

Q2 今年度の上半期をどのように評価されますか？

上半期は、3月の東日本大震災や世界経済環境の悪化により不透明かつ不安定な経営環境が続きました。震災による下半期へのプロジェクト延伸、売上の4割を占める通信キャリア分野での大規模プロジェクトの一巡、パッケージビジネスの不振等、厳しい状況のなか、開発の効率化等を通じて原価率の改善に努めましたが、売上・営業利益とも若干ではありますが目標を下回る結果となりました。下半期はこれらの施策をさらに推進し、年度目標達成に取り組んでいきます。

Q3 新たな取り組み、事業戦略はどのようなものでしょうか？

まず「クラウド」の言葉に象徴されるように、お客様がITシステムを開発し自社保有する形態ではなく、既に提供されているサービスを利用する形態が増えてきました。そこで当社は、ERPパッケージ「CAP21」やセキュリティパッケージ「FENCE」シリーズなどの製品を、クラウドサービスとしても提供する事業を開始しました。



「Smartphone & Tablet 2011 fall」展示会 東京ビッグサイト

また、パソコンや携帯電話などの機能が融合されたスマートフォンやタブレットといったスマートデバイスが急速に普及してきました。従来の個人利用だけでなく、企業内の業務利用においてもスマートデバイスの導入が加速しており、当社が今年出展した2回の展示会（5月、10月）*でも大勢のお客様が来場され、スマートデバイス関連サービスに対する関心の高さが顕著でした。当社は、携帯端末等の組込みソフトや、暗号化などのセキュリティパッケージ、webアプリケーションによる業務システムなど多面的な分野にわたる豊富な経験と技術を活かし、スマートデバイスを業務利用するときには必須となる各種サービスを提供し始めました。例えば業務用のスマートフォンを紛失したときに、遠隔操作で直ちにデバイスの機能をロックしたり、デバイスに残っている秘密情報の流失を防止するサービス「FENCE-Mobile RemoteManager」や、タブレットを使った電子カタログ機能を提供するソリューション（インテリジェント電子カタログ）なども提供開始しました。

さらにこの上半期は新たな試みとして、当社の組込み技術を活かしたソーラーランタン「Solar Cubic

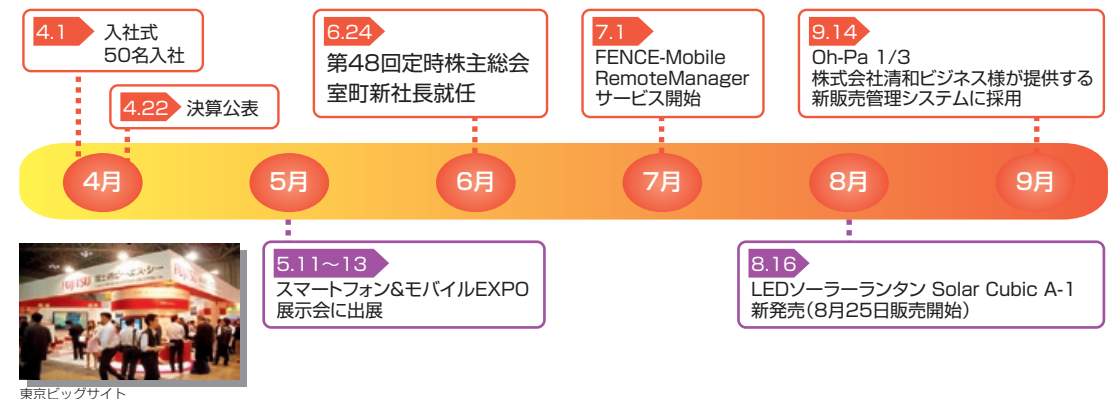
A-1」を発売いたしました。自らが商品を企画・製造・販売・サポートを担当することでシステム機器メーカー様の課題や悩みを理解し、より良いソリューション提供をするための実践の場としての効果も期待しています。既にネット通信販売や家電量販店等でも好評です。今後も新たなマーケットの掘り起こしや、新製品の開発や新サービスの提供に努めてまいります。

*「スマートフォン&モバイルEXPO」(5.11~13)、「Smartphone & Tablet 2011 fall」(10.12~14)

Q4 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社は、常に進化し成長し続けるITベンダーです。お客様が日々変化の中で、一歩先を見ながら当社自身が常に進化していかなければならないと感じています。「変わらざるために変える」を信条に、当社は既存分野での事業強化だけでなく先進分野への挑戦、中国市場への積極展開などを通じて、企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

上半期のトピックス



新サービス

FENCE-Mobile RemoteManager

スマートフォンやタブレットなどの情報端末が急速に普及するなか、企業がビジネスで活用するケースが増えてきています。その一方で企業にとっては、スマートフォン等の紛失や盗難による情報漏えい対策が急務となっています。

「FENCE-Mobile RemoteManager」は、業務で利用するスマートフォン等のセキュリティの設定をクラウドで一元管理するサービスです。例えば社員が業務用のスマートフォンを紛失したときには、リモートコントロールにより端末の機能のロックやデータ通信の切断等を行い、企業の営業秘密や個人情報の流出をブロックすることができます。

(7月1日サービス開始)



新製品

LEDソーラーランタン「Solar Cubic A-1」



「Solar Cubic (ソーラー・キュービック) A-1」は、当社の組込み技術を活かしたキュービック型のソーラーランタンです。本体上部にソーラーパネルを、本体内にはリチウム・ポリマー充電電池と32個の高輝度白色LED (発光ダイオード) を搭載し、最長100時間の点灯が可能です。用途に合わせて照明方向は6パターン、明るさも4段階で選択できます。

また、FMラジオ、USB端子を備えており携帯電話等の充電もできます。なお、本体の充電は2方式 (ソーラーパネル、ACアダプター) です。

「Solar Cubic A-1」は、一辺が15cmのキュービック型で安定感のある形状と落ち着いたデザインです。家庭やオフィスに1台備え置くだけで、非常時等にその威力を発揮します。

大手インターネット通販サイトや家電量販店等で好評販売中です。

(8月25日販売開始)

四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 平成23年3月31日現在	科目	当第2四半期末 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 平成23年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	25,098	19,602	流動負債	5,192	5,679
現金及び預金	959	912	買掛金	1,606	1,619
預け金	12,600	6,800	未払法人税等	471	726
受取手形及び売掛金	9,341	10,183	役員賞与引当金	10	18
たな卸資産	987	473	その他	3,103	3,314
その他	1,239	1,269	固定負債	7,864	7,709
貸倒引当金	△29	△37	退職給付引当金	7,644	7,437
固定資産	6,403	11,808	役員退職慰労引当金	43	93
有形固定資産	2,046	2,051	資産除去債務	162	160
無形固定資産	699	653	その他	13	17
投資その他の資産	3,657	9,103	負債合計	13,056	13,389
長期預け金	—	5,500	純資産の部		
繰延税金資産	3,253	3,197	株主資本	18,377	17,953
その他	406	408	資本金	1,970	1,970
貸倒引当金	△2	△2	資本剰余金	3,012	3,012
資産合計	31,501	31,411	利益剰余金	13,395	12,970
			自己株式	△0	△0
			その他の包括利益累計額	△11	△10
			その他有価証券評価差額金	△0	△0
			為替換算調整勘定	△11	△10
			少数株主持分	79	79
			純資産合計	18,445	18,022
			負債純資産合計	31,501	31,411

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表（要旨）

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成23年4月1日～平成23年9月30日	前第2四半期累計 平成22年4月1日～平成22年9月30日
売上高	14,833	15,211
売上原価	12,221	12,706
売上総利益	2,612	2,504
販売費及び一般管理費	1,610	1,493
営業利益	1,002	1,011
営業外収益	17	29
受取利息	11	20
保険事務手数料	4	4
その他	0	4
営業外費用	3	0
従業員等見舞金	2	-
その他	0	0
経常利益	1,015	1,039
特別損失	-	113
資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	-	113
税金等調整前四半期純利益	1,015	925
法人税等	428	393
少数株主損益調整前 四半期純利益	587	532
少数株主利益又は 少数株主損失（△）	1	△4
四半期純利益	586	536

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成23年4月1日～平成23年9月30日	前第2四半期累計 平成22年4月1日～平成22年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	702	603
投資活動による キャッシュ・フロー	3,307	△2,197
財務活動による キャッシュ・フロー	△161	△147
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△1	△4
現金及び現金同等物の 増減額	3,846	△1,746
現金及び現金同等物の 期首残高	4,212	5,542
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,059	3,796

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成23年9月30日現在)

- 商 号 株式会社富士通ビー・エス・シー
(FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.)
- 設 立 昭和38年11月20日
- 資 本 金 19億70百万円
- 会 計 監 査 人 新日本有限責任監査法人
- 主要な事業内容 コンピュータのソフトウェア開発及び販売
ならびにこれらに附帯する事業
- 従 業 員 数 企業集団 2,121名
当 社 1,956名

- 主要な事業所
 - 本社（本店）
東京都港区台場二丁目3番1号（トレードピアお台場）

- 開発センター
仙台開発センター
三島開発センター
大阪開発センター
福岡開発センター
- 人材センター
東京人材センター
大阪人材センター

- 主要な子会社
北京思元軟件有限公司（中国 北京市）



トレードピアお台場

会社の役員に関する事項

● 取締役及び監査役

代表取締役社長	室 町 義 昭
取 締 役	石 川 徹 徹
取 締 役	廣 澤 満 治
取 締 役	小 林 敏 夫
取 締 役	近 藤 陽 介
取締役(社外)	浜 場 正 明
取締役(社外)	須 山 寛
常 勤 監 査 役	近 藤 正 司
監査役(社外)	磯 部 武 司
監査役(社外)	山 内 輝 茂

● 執行役員

執行役員社長	室 町 義 昭	
執行役員専務	石 川 徹 徹	ビジネスサポート本部長
執行役員常務	廣 澤 満 治	エンベデッドシステム本部長
執行役員	小 林 敏 夫	第二システム本部長
執行役員	近 藤 陽 介	第一システム本部長
執行役員	石 上 朗 秀	パッケージ&サービス本部長
執行役員	津 曲 秀 昭	第一システム本部 副本部長
執行役員	吉 田 春 男	第二システム本部 副本部長
執行役員	地 引 一 利	エンベデッドシステム本部 副本部長
執行役員	前 田 真 利	第二システム本部 副本部長
執行役員	阿 蘇 秀 樹	新分野ビジネス推進室長 兼パッケージ&サービス本部 副本部長
執行役員	矢 部 幸 弘	第一システム本部 副本部長

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 43,200,000株
- 発行済株式の総数 11,800,000株
- 株主数 6,608名
- 大株主（上位10名）

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	6,660	56.44
株式会社尾上企業	432	3.66
富士通ビー・エス・シー従業員持株会	357	3.02
ゴールドマンサックスインターナショナル	297	2.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	215	1.82
有限会社フクヤ電建	142	1.20
べんてんトレーディング有限公司	105	0.89
伊藤秀文	100	0.84
ドイチェバンク アーゲー ロンドンビービー ノントリティー クライアント 613	64	0.54
永井詳二	50	0.42

(注) 当社の大株主への出資はありません。

- 自己株式の保有数 377株（単元未満株式の買取）

ホームページの
ご案内

<http://www.bsc.fujitsu.com/>

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に向けて、企業情報や財務情報について、積極的に情報を開示しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。



株式事務のご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.bsc.fujitsu.com/ir/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社富士通ビー・エス・シー

〒135-8300 東京都港区台場二丁目3番1号（トレードピアお台場）
TEL 03-3570-4111 FAX 03-3570-4000

